

## 児童支援専任より

新しい年を迎えたと思ったのも束の間、あっという間に年度末を迎えました。学習面も生活面も、一年間の総まとめの時期です。

ふり返りというどうしてもできなかったことに目が向きがちです。ここがうまくいかなかった、よくなかったということを課題として次につなげることはとても大切なことですが、自分のマイナス面ばかりが意識されてしまい、前向きな気持ちになりにくいと思います。よかったところにしっかりと目を向け、そのよさを生かしていくための目標が設定できると、より前向きな生活を送ることができるのではないのでしょうか。お子さんとの会話を通してぜひこの一年のがんばりを認め、よいところを伝えていただければと思います。そのことが子どもの自己有用感につながり、新しい年度への意欲につながると思います。

児童支援専任 伊勢谷 裕教